

長崎倶楽部 No.47

2014.7.24

長崎県人クラブ事務局 〒160-0004 新宿区四谷1-10-2-412 tel:03(5366)4888 http://www.k2.dion.ne.jp/~nkenjin/ 発行人/山内 賢明

目次

● 巻頭インタビュー 38 / 福地茂雄	1	● TOPICS・イベント予告	12
● 講演会	6	● よかもん	15
● 新刊紹介	9	● 新人会員自己紹介・おくやみ	20
● ひと	10	● ESSAY	21
● 会社訪問	11	● 四谷散歩とところどころ	21

題字：吉田 佳広

巻頭インタビュー

38

私と長崎

福地茂雄

アサヒグループ
ホールディングス
相談役、
元NHK会長

これまで常に「お客様満足」の基本理念を、
決断する際の判断基準にしてきました



今回はアサヒビール社長・会長を務め、更にNHK会長などを歴任された福地茂雄氏にご登場いただいた。生い立ちや経営者の心構え、人生論、芸術論にまで話題は縦横に広まりました。

（聞き手：当クラブ常務理事、牧山康敏、撮影：スキーン・スタッフ代表 井口尚美氏 6月18日取材）

——ビールが一層暑い季節になりました。消費税上げの影響はどうですか。

福地相談役 影響は余りないじゃないですか。ビールは安いし、半分は税金ですよ。発泡酒や新ジャンルは経済的な理由だけではなく、美味しくなったので飲むという感じです。ビールも嗜好品なので（アサヒの）スーパードライを飲んでいる人はそれほど止めないですよ。（笑い）

——ただ国内需要は人口減少で今後頭打ちになるのでは。

福地相談役 国内需要は人口が減少すれば影響はあるでしょう。ただ、各ブランドが同じように減るのではなく、3番手、4番手のブランドが早く減り、トップブランドは影響が少ないと思いますね。

——ビール各社は外国需要に対応して現地生産に力を入れています。

福地相談役 アサヒも中国や東南アジア、ヨーロッパ、カナダなど各国で現地生産しています。現地生産しないと日本から運ぶのでは

ビールは今後人口減少による影響はあるでしょう。
しかしブランドによって差が出ると思いますよ。

採算に合わないからです。

◆◆◆ 生まれは北九州市 6人兄弟の長男に

——さて、生い立ちやサラリーマン生活、経営者時代などについてお伺いします。お生まれは福岡県の旧戸畑市、現在の北九州市ですね。

福地相談役 北九州市生まれの北九州育ちです。6人兄弟の長男ですが、実家は紙文具店を経営していました。長男というこ

とで小さい頃はよく鍛えられました。特に母親は教育熱心で厳しかった。今で言う「教育ママ」

です。小学校の頃は参観日でもないのに学校に来て、教室には入らないが廊下で時間割などを見て。学芸会や剣舞の振り付けなども母親がやる。そして家で練習です。俳句や短歌などにもよく手を入れる。5年生の

時、送辞を読むことになり私が書いたものを手直しする。例えば「厳しい寒さの…」を「厳寒の…」といった風に難しく直すのです。(福地さんは送辞の内容を今も記憶して、会見中すらすらと暗誦)

——よく覚えていますね。

福地相談役 昨日の飯のおかずは忘れても何十年前のことはよく覚えています。送辞や答辞を読んだことのある友人に聞くですね。

——高校は文武両道で聞こえた小倉高校ですね。

福地相談役 長男坊ですから親父の紙文具店を継ぐつもりでいたので小倉高校の商学科に入りました。新制中学の思い出はほとんどありませんが、小倉高時代の印象は強いですね。その後の私の人生に大きな影響を受けました。特に3人の先生から教

わった言葉は今の私の座右の銘になっています。担任の高生先生からは「人生、意気に感ず」、学生主任の山中先生からは「一隅を照らす」、簿記の中村先生からは「一期一会」という言葉です。

当時は野球も強かったです。私たちの少し前ですが、福岡—原バッテリーで全国優勝もしています。運動でもよく鍛えられました。

◆◆◆ 母は熱心な「教育ママ」 俳句・剣舞等全て指導

——大学は長崎大学ということですが、長崎との縁はこの大学時代からですね。大学時代は相当熱心に勉強されたそうですが。

福地相談役 小倉高の中村先生が長崎高商(長崎大の前身)出身、母親の兄も長崎高商卒だった関係もあって長崎大学経済学部に進みました。周りの学生は皆まじめでしたね。授業の他にケインズの著書等を私の部屋に

集まって週に1回輪読会を開いていました。メンバーには後に東芝の副社長になる内山淳見君や長崎の浜屋百貨店取締役相談役の藤木博君などがいました。3、4年生にかけてはユネスコ協会に入って、古代神殿をナイル川の水没から救出する運動やコーラスクラブに入って活動しました。大学時代も母の教育マ

マぶりは変わらず毎日、西日本新聞の北九州版を切り抜いて送ってききました。下宿料は5千円で、仕送りも毎月5千5百円あり、助かりましたね。必要な本も母が送ってくれて、アルバイトはするなという。この4年間で長崎での生活ですが、その後もお付き合いが続いています。講演やシンポジウムの企画など様々です。また長崎大学経済学部「瓊林会」関係などの手伝いもしています。

——大学卒業後、1957年にアサヒビール入社ですね。

福地相談役 もともとメーカーに入って工場の会計などをやりたいと考えていました。アサヒの東京での試験には九州から2人が受けられることになりましたが、小倉高時代の優秀な同級

生も受ける予定になっていたのですが、これは厳しいと思っていたら、当日彼は来なかった。これも運ですね。それで入社が決まりましたが、後で見せてもらった成績では28人中28番目でビリでしたよ。

——最初の配属先は大阪支店の営業部門に。

福地相談役 本当は九州から東京での勤務を望んでいましたが、親父は私の大阪勤務を「商売の土地柄」だからと喜んでいました。後にアサヒの社長になった時、大阪で営業を鍛えられたことが大変参考になりました。名古屋、東京勤務を経て再び関西勤務で大阪支店長に就任しました。当時の取引先の285位のこととは今でもはつきり覚えてますよ。人生塞翁が馬、いたる処青山あり、といいますが、与えられた部署で全力を尽くすことが大切ということ学びました。後に東京芸術劇場の館長を務めました。研修所で研修生に「貴方たちは主演をやりたいと思っているかもしれないが、主演は1人だけ。助演がいてこそ主演も引き立つのです」と諭しました。アメリカンフットボ

小倉高校時代はその後の人生に大きな影響を与えました。
3人の恩師の言葉が私の座右の銘です。



アサヒ入社の成績は28人中28番目。初任地は大阪で営業部。 大阪時代の経験は後の経営者として大変役立ちました。

ールでも同じです。舞台で華やかに歌うヒーローでも、歌わないヒーローがいるから目立つ。つまり縁の下の力持ちに徹することも大事です。

大阪・名古屋と東京のお客さんの特徴的な違いはありますか。

福地相談役 やはり気質は違いますね。大阪でも名古屋でもそうですが、直ぐには親しくなっていく。でも一度親しくなると

長く付き合うようになる。当時のお得意さんとは今でも付き合い合っている人が大勢います。挙げたらキリがないくらいです。

◆◆◆ 2度目の大阪は支店長 運にも恵まれる

大阪支店長時代で特別の思い出はありますか。

福地相談役 東京の営業部長から大阪支店長に就任しました



が、人生は運が8割だと思えますね。後の2割は本人の努力でしょう。私の初任地が大阪。その大阪支店でも前の支店長が1年で代わった。その後に私が行ったわけですね。アサヒのスーパードライが出た頃でしたがこれも運ですね。神様は運を誰にでも同等に与えるものと思っています。その運とツキを逃さないようにそれぞれ与えられたことに全力投球することが大切です。そうすれば必ず認められるものです。その前には

京都支店長もやりましたが、その時はアサヒの反転攻勢のきつかけとなったビール「コク・キレ」が好評だった。それまで9%台で推移していたシェアが10%台に上がった。毎年ボツボツ上がっていく感じでした。

アサヒを完全に復活させたのが1987年発売のスーパードライ。それから10年余の98年にビールのシェアが麒麟麦酒を抜いてトップに。まさに地殻変動的なシェア・アップでした。99年社長に就任されますが、経営理念はどう考えましたか。

福地相談役 村井勉さんが社長当時、関西経済同友会代表幹事として米国視察に行き、米国が顧客満足度を大事にしていることを知り、アサヒ時代に「お客様満足」を打ち出し、私もこの理念を引き継ぎました。これは全てに通じます。NHK会長時代

は視聴者満足、東京芸術劇場館長の時は観客満足を基準に考えて物事を決断しました。アサヒは当初、発泡酒発売を見送って



いましたが、これもお客様満足を考えて発売を決断しました。

また、東京芸術劇場館長として2011年3月の東日本大震災の直後、3月31日に開催を予定していた音楽コンサートを開くかどうかの判断も観客満足の基準で開催に踏み切りました。当時は何事も自粛ムードが強かったのですが、自粛では皆が満足しない。皆が喜ぶ方法を考えて開催しよう。開催の収入は東日本大震災の被災地に寄付することにして観客に伝えたと皆さん大喝采でしたね。

NHK会長時代には大相撲の野球賭博問題もありました。

福地相談役 相撲放送を続けるか中止するか最大の関心事でしたが、視聴者本位に考えて平成22年7月の名古屋場所の中継放送を止めました。その場合もダイジェスト番組を如何につくかを工夫しました。夕方のダイ



ジェスト番組と深夜のダイジェストでは視聴者の層が違うので、そこをよく考えてくれと言いましたら、制作現場もよく応えてくれましたね。

NHKの話になりましたが、最近のNHKの番組はどうですか。

福地相談役 朝ドラも面白いですよ。今の「花子とアン」もいいし、その前の「ごちそうさん」も面白かった。NHKは1日160時間以上放送していますが、もちろん全部見られるわけではありませんが。

アサヒの名物社長で財界でも活躍された樋口廣太郎さんに福地さんは社長に抜擢されたそうですね。樋口さんの人物像または印象は。

福地相談役 樋口さんにはよく怒られましたね。樋口さんは時を告げる典型的なナリスマ経営者です。私は時を告げ続ける時

99年の社長就任では「お客様満足」という

アサヒの経営理念を徹底。全ての判断はこれを基準に。

モンドセレクション13年連続受賞蔵

“美しい味”海を渡って届けます。



まつながやすざえもんおう
松永安左エ門翁

720 ml (43度)



壺岐オールド

720 ml (25度)



壺岐スーパーゴールド22

720 ml (22度)

むぎ焼酎 壺岐

玄海酒造株式会社

取締役会長 山内 賢明

取締役社長 山内 昭人

取締役副社長 山内 博達

〒811-5125 長崎県壺崎市郷ノ浦町志原西触550-1 TEL.0920-47-0160 FAX.0920-47-0211

www.mugishochu-iki.com

本格麦焼酎

◎お酒は20歳になってから。◎お酒は適量を
◎妊娠中・授乳期の飲酒には気をつけましょう

壺岐麦焼酎

かめはだか 山の守

有限会社山の守酒造場



本格麦焼酎
1800 ml (25度)

◎お酒は20歳になってから。

取締役会長 山内 賢明

取締役社長 山内 昭人

取締役副社長 山内 博達

〒811-5125 長崎県壺崎市郷ノ浦町志原西触85 TEL.0920-47-0301 FAX.0920-47-0384

計をつくるのが経営者の務めだと思つてガバナンス（企業統治）をやつてきました。今の本社ビル（東京・吾妻橋）の横にある、屋上に黄金色の泡を形どつたビルも樋口さんだから出来たようなものです。

◆◆◆ 与えられた仕事に全力 それが人生の運を開く

——企業メセナ協議会理事長として企業メセナについてのお考えを。

福地相談役 東日本大震災の後、まず募金活動を始めました。土砂降りの時には破れ傘でもいいからまず傘を差し伸べてあげることが大事。芸術文化というのは人間が生きていく上ではビールと同じで必需品ではないが、人間が人間らしく生き、人生を豊かにするためには必要なものなのです。

——ここで人生観といいますか、座右の銘をお願いします。

福地相談役 人生訓についていえば小倉高校時代の3人の恩師の言葉です。一つは「一隅を照らす」。自分の置かれた所に全力を挙げる。それから「一

長崎県は外国人にも優しく食べ物も旨い。今後

「観光日本」の柱として期待。誇りを持つことです。

◆ 福地 茂雄氏プロフィール

生年月日	昭和9年6月11日（1934年）
本籍地	福岡県北九州市
略歴	昭和32年3月 長崎大学経済学部 卒業 昭和32年4月 アサヒビール株式会社 入社 平成11年1月 代表取締役社長 平成14年1月 代表取締役会長 平成18年3月 相談役 平成19年4月 企業メセナ協議会理事長 就任 平成19年11月 東京芸術劇場館長 就任 平成20年1月 相談役 退任 平成20年1月 日本放送協会 会長 就任 平成23年1月 日本放送協会 会長 退任 平成23年1月 相談役 再任 平成23年4月 新国立劇場 理事長 就任 平成26年3月 企業メセナ協議会理事長 退任。 現在に至る

期一会」。出合いを大切にすること。さらには「人生、意気に

感ず」。人間は感情で動くものが褒めることは怒る以上に難しいが褒めるのは人前で、怒るときは人陰でひそかに怒ることが大事ということ。

——とてもお元気そうですね、健康法は如何ですか。

福地相談役 健康法といつても毎朝、プールで歩く程度です。「NHKと福地は年中へ休刊（肝）日」なし」と言われています。（笑い）毎年365日休みなく適量のビールを飲んでいますが、肝臓の数値は変わりま

せん。無茶飲みしないから健康にいいんです。

——最後に長崎県人あるいは行政などに対してご提言がありましたら。

福地相談役 特別に意見などありませんが、長崎はもとと天下の天領ですから誇りを持つてほしいですね。外国の人にも優しいし、食べ物も美味しい。今後「観光日本」を築くうえで長崎はその柱になると思いますよ。

——長時間、貴重なお話を有り難うございました。

会員デーのご案内

会員の親睦と情報交換の場のひとつとして会員デーを設けています。ご案内します。

【日時】 毎月（8月および休日の日を除く）第2水曜日
午後6時～8時頃まで

【場所】 当クラブ 1階 会議室

※これからの予定

- ◎平成26年 9月10日（水）
- ◎平成26年10月 8日（水）
- ◎平成26年11月12日（水）
- ◎平成26年12月10日（水）
- ◎平成27年 1月14日（水）

※平成27年2月は第2水曜日が祝日と重なりますのでお休みです。

（写真：宅島正二氏）



平成26年春の講演会

【講演日：平成26年3月24日】

長嶋茂雄の素顔とサービス精神

講師 黒江 透修氏

王さん、長嶋さんは
人間的にも素晴らしい

きょうの演題は、長嶋さんの「ミ

スタープロ野球」という中身ですけど、プロ野球に入るまで、私も非常に大変でした。家が精米所だったのですよ。もみの米を白米にする。それと、麦は押し麦にしします。石みたいなローラーでつぶしていくんですね。私は5年生のときに、ローラーに麦がつまるので、天ぷら箸で通りをよくする。ところが、私は右手の人差し指と中指を箸代わりにしたら、指が挟まれました。「お父さん指がなくなつた」。「ああ、もう野球できないと思いましたが」ところが、幸か不幸か、私、手は小さいんですが、この人差し指が3ミリぐらい残ったんですね。ここなんかグチャツとやったのが残っていますよ。だから、普通、ボールを投げるときには、ここに爪が引っかかっちゃうんですね。普通の人が投げるときは全然かからないですが、私はそれだけ人差し指が短いんですよ。硬球だと、糸にかけるとつぶ

れちゃって、血が出るんですよ。人一倍努力しましたね。ボールを上に向けて取って、また、縫い目をパツと避けるようにね。

子どもたちを教えていますけど、「先生の手を見てみなさい。こんなちっちゃい手で、しかも、こういうアクシデントがあつても、プロ野球の選手としてやれたんだ。だから、体が大きくないとか、ちっちゃいとか、少々アクシデントがあつても、努力すればできる」と。そういったことが一番苦労しました。

最初はノンプロ野球で、佐賀の杵島炭鉱、10月に解散して、日炭高松へ。日炭高松は3年プレーして、どうしても東京へ行きたくて、それで、私は東京へ出てきたのです。それから五十何年になります。

ジャイアンツに入って一番よかったのは、強いチームであり、王・長嶋というスーパースターがいたことです。王さん、長嶋さんは、本当に人間的にも素晴らしいしね、プレーヤーとしても素晴らしい。だから、私たちが一緒にやっていても、長嶋さん、王さんを

超えるなんていうことは全然思わなかったですね。レベルが全然違うんですよ。そういった選手がいろいろ努力する姿を直に見て、こういうスーパースターの人がやっているんだから、我々へボはまだまだありまじけないうい、ジャイアンツも強かつたと思うし、また逆に、巨人軍というのは、優勝するのは当たり前で、リーグ優勝ではだめだと。日本で初めて優勝だという、そういった時代でしたからね。特に、そういう面では、優勝するためにはどうしたらいいかということ、当時の監督、また、コーチの指導がありましてね。いい野球を教えてもらったと思います。

私がジャイアンツを辞めて、それで、よそのチームへ行きました。私はジャイアンツをはつきり言うてクビになったわけですから、よし、今に見ておれと。ジャイアンツをやつてやると。実際に、ジャイアンツをやつたりしましたしね。特に、私がジャイアンツを辞めた後、中日ドラゴンズに

行ったときなんか、中日と巨人がやって、中日が勝つと、「おまえは巨人の裏切り者」と言われるんです。私は「俺は、今は名古屋の人間だ。ドラゴンズの一員だ。巨人をやつつけるのが楽しみなんだ」とかと言ってね。ファンとよくやり合つたことがありますけどね。そういった負けん気の強さといひますか、そういったものも小さいときからやはりあつたと思います。そういう気持ちはあつたんですね。

川上さん、荒川さん
から指導を受ける

私は台湾で生まれて、香港で育ち、20年に鹿児島に引き揚げたわけですよ。うちは8人兄弟ですから、育てるのに、やつぱり終戦後は、何せ親は食べさせることが一番大事だったので、精米所をやつたんですね。あのときは、私は、稲刈り、麦踏、薪を運んだり、二山ぐらい越えて、一把の薪を運ぶのに、5円ぐらいしか貰えない。あるときは、夏はアイスクャンディ売りもしたことがあります。そういう面では、どんな苦労でも耐えられるというふうなものがあつて、ジャイアンツに入ったときも、最初は、私は絶対レギュラーを取れると思つていたんですよ。広岡さんがちよつと落ち目になったときだったですからね。ところが入

つてみると、プロ野球のボールの勢いがやつぱり違うんですね。また、バッターは飛ばしますしね。ピッチャーも、ボールはピュウッと来るし、カーブでも、ドロシンじゃなくて、キューツと曲がるわけですよ。見たことないような球を投げる人が多いわけですよ。それにまず慣れなくちゃいけないということでした。

私の場合、監督の川上さん、また、当時のバッティングコーチの荒川さんから「おまえの今のバッティングでは、プロ野球では打てない」とかね。悪くなつてくると、こういうふうには遠回りするから遅れるんですね。それは自分でもわかつていたんですけどね。それを突かれてね。もう一つ上から叩けと。大根切りみたいな極端な指導を受けましたよ。ところが、あの当時、私は、監督とコーチというのはこんなに意見が違うのかなと思ひましたね。川上さんは「おまえは、昔の吉田みたいな、こう持つてこうやって打て」とかね、その日その日によつて違うんです（笑）。だけど、荒川さんは、「オヤジ（川上さん）は、ああいう人だから、一応言うことを聞け。だけど、絶対おまえはよくならん。俺の言うことを聞かなくやダメだ」とかね。プロ野球で、監督とコーチの意見が違うなんていうことは初めて経験しましたけどね。

それぐらい荒川さんも王を育てた関係で自信を持っていたと思うんですけどね。でも、2年でレギュラーを取りましたね。

足を上げてスーッと入る。セーフ

ノンプロで一緒にやったピッチャーで小川健太郎さんがいたんです。中日に行きましてね。彼は私より3つか4つ上ですから、すぐ通用しましてね。すぐ20勝かしたんですよ。あるとき、7月2日でしたか、後楽園で中日戦ですよ。「7月の天王山」と言うぐらいジャイアンツと首位攻防戦で。外野で球拾いをしていたら、小川さんが来て「オーイ、クロ、おまえどうしてんだ」と言うから、「最近ちょこちょこ出ている」と言ったら、健太郎さんというのでケンさんと言っていました。広島に龍さんというピッチャーがいたんですね。この人も一緒にノンプロでやったんですね。そのスライダーが打てなかつたんです。「ケンさんね、あのスライダーが打てないんだ」と言ったらね。「俺は、おまえのバッティングを一番知っている」と言うわけですよ。「おまえは、あれを引つ張っちゃだめだ。セカンドの後の右中間に打たなければいかん」と言うわけですよ。「あ、そうですね」と言つて、その日は何と小川さんが先発なんですよ

(笑)。私は7回か何かに代走で出てね。そのまま回つてきて、8回1対1の同点で先頭バッターですよ。小川さんのスライダーを右中間に3塁打を打ったんですよ。3塁打を打つて、滑り込んで、パッと見たときに、「このバカヤロウ。俺から打ちやがって」と言われて(笑)。ちょうど堀内が入ってきたときです、先発の堀内に打順が廻つてきて、堀内がスクイズしたんですよ。そのスクイズバントがいい当たりで、1塁方向へ、ホームでキャッチャーが捕つたときは、まだその3メートル手前ぐらいのところに私はいるわけですよ。それを普通に滑つたつてアウトですからね。今まで苦労した経験で、体当たりして、何とか落球でもしないかなという気持ちで、無意識のうちに蹴飛ばして行つたんですよ。相手が落球しました。次のバッターの柴田が「ベース踏め、ベース踏め」と言っているわけですよ。一瞬こつちも放心状態。それでハツとして本塁ベースを踏んだらセーフなんですよ。それでえらくもめましてね。あんなスライディングはないとかね。結果的には、その試合に勝ちましてね。次の日に、川上さんが「昨日の黒江のあの体当たりを見たか。今、ジャイアンツに足りないのは、ああいう執念が足らん」と言つて、お褒めの言葉をいただいて、監督賞

ですね。5000円だったですけどね。即その日からスタメンで出て、3本打つたんですよ。そうしたら、8回の裏に、7対2ぐらいでジャイアンツが勝っているわけです。そうしたら、ドラゴンズの監督が西沢さんという方ですね。自分のところのピッチャーに「いいから、黒江にぶつけろ」と言うんです。それで、私もどつちかというところ、昨日、ちよつと申しわけないスライディングをしたという良心はあるんですよ。よしと思つて、逃げないぞと。絶対文句を言うまいと思つてね。もろに食いました。もう息が出ないぐらい。一瞬息が詰まったみたいな感じでしたら、両軍バースと出てきますからね。これはいかんと思つてね。うちのほうを制してね。私は立ち上がつて、1塁に行つたんですよ。何か文句言いながら、うまくしたんですよ。そうして、私いきなり盗塁しましたよ。タイムリングは、完全にアウトがセーフですよ。相手野手は、蹴飛ばされると思つて、タッチが甘くなり、私の足がスーッと入つちやつてね、セーフ。中日戦では3回ぐらい、私は、完全なアウトが、足上げていくものですよ、この短い足がね(笑)。相手は、(足を)上げてきたときに、やられると思うから逃げるんですよ。逃げたときにスーッと入るん

ですよ。だものだから、セーフなわけですよ。「あいつに変なのは投げないで」と選手がピッチャーに言うぐらいでね。それで結局、私はレギュラーを取つちやつたんですよ。だから、途中で足を怪我したり何かして、ザクロみたいなときがありましたけどね。「休め」とか言われたけど、休みませんでした。

私は長嶋さんと一緒に実際は8

年か9年、三遊間を組むんです。レギュラーを取つた頃はお任せしつ放しです。ゴロを取るのも、私のところまで取ってくる(笑)。それでも、フライは取らないんですよ。フライは落としたら格好つかないから。「黒ちやくん」とか言つて、パツといなくなつちゃうんです。

あるときに、甲子園で雨が降つていたんですね。それで、2アウ





長嶋さんは私の頭の上で素振り

あなたのフライなんだけどつて。

ト満塁ですよ。バッターは田淵だったんですね。雨がポトポト落ちるわけですよ。「サード！」と言ったらね。サードといなくなつた。だから、それを取りに行きますからね。でも、ボールがなかなか落ちてこないですよ。雨はポタポタくるでしょう。落としたら3点入るから、こんな感じで取ったと思つたら、パースと来て「黒ちゃん、ナイスプレイ！」とか言うわけですよ(笑)。冗談じゃない、これは

長嶋さんは、現役時代こういうことがありました。枕元に必ずバットを持って寝ていました。旅館で、8畳ぐらいの部屋ですけどね。寝ていてもですね、そのうち、立ち上がつてね。私の頭の上で素振りをするんです。納得するまで振るわけです。シーズン中ですよ。

長嶋さんも考えるとやつぱり寝れないんだなと思いました。

今度は監督になりましたよね。監督になったときなんかでも、私はサードコーチですから。サインのやりとりがあるわけですね。長嶋さんが私に出すわけです。簡単なサインなんですよ。私は選手にサインを送りますよね。いろいろこんなことをやって送るわけですよ。それは複雑ですよ。ところが、あるとき、わからなくなつちやうなんでしょうね。何がサインだったかわからない(笑)。猿回しみたいなことをやるわけですよ。ホッホッ……やり出すんですよ。私はもう性格がわかつていますから、あ、サインがわからなくなつてきたなど。ベンチへ帰つたときに、「監督、サインがわからなかったたでしょう」とは言えないじゃないですか。「監督、えらく考えていましたね」と言う、「そうなんだよ。黒ちゃん悪い、悪い。今度きちつとやるから」つて言うから。「オイ、黒ちゃん、バントはどつちだったかな」つて言う。こつちがバント、こつちがエンドラン、こつちはバスターエンドランとか、その確認なんです。今度きちつとやるから」と言つておいてね。正直でしょう。バントみたいなケースで、正直にバントのジェスチャーをしたんですね。それで、テレビの番組で、「長嶋

監督さんは、ああいうケースでよくバッターに、バントのしぐさをされますけど、あれはどういったことなんですか」と、ちよつと意地悪な質問をアナウンサーがするわけですよ。こつちは何と言うかなと思つたらね。「いや、あれは、私がバントだと言つたらね。長嶋のことだから、バントと見せかけて打つかもしれないと思うから、私はやっているんです」と(笑)。後になつてね。「昨日、テレビ見していましたよ。何かええかげんなことを言っていましたね」「黒ちゃん、だつて、あんなところではああ言わざるを得ないじゃないか」と。テレビでは本当のことを言えないから、そう言えば、ああなるほどと納得するからつてね。そういうサービス精神があるわけですね。

「俺はそういったときに、どうしたらファンに受けるか」と。バッティングでも、ヘルメットが脱げるでしょう。あれなんだと。長嶋は帽子が脱げるぐらいバットを振っているというところをファンに見せると。これ(帽子)はちよつと緩めなやつをかぶっているんです(笑)。今までの人は誰も知らなかったと思いますが、そうなんです。そういう意味では大したものですよ。今までの川上野球から脱皮しようとして、ああしたと見ているんです。

だから、あの人はゴロを取つていくでしょう。あれなんかでも、普通は、取つて、ヒューツと投げればいいわけですよ。それじゃ、ファンにはあんまり受けられない言。これも計算づくなんです。これは、本人がはつきり言いました。

極端なプレーもしましたよ。やつぱり動物的なカンがあるんですね。長嶋さんはとにかく幸せな人ですよ(笑)。本当に幸せ。終身名誉監督と言われますけどね。王さんは王さんで、ソフトバンクへ行つて、ONはそういう面ではまだ健在ですからね。私たちがONと一緒にやれて、本当に幸せだと思います。国民栄誉賞なんていうのは、もうちよつと早く出さなければ。だけど、去年、松井君と一緒にもらつて、よかったと思います。(拍手)

◆黒江透修(くろえ ゆきのぶ)氏プロフィール

昭和13年生まれ。鹿児島高等学校卒。
昭和39年 プロ野球読売ジャイアンツ(巨人軍)入団。V9巨人の遊撃手として内野守備の要。堅実な守備でベストナイン。現役引退。
昭和49年 多くの球団の監督・コーチとして野球指導者。
昭和50年 野球の解説・評論家として活躍、現在に至る。
平成21年

「被爆者調査再検証 原子野のトラウマ」

太田保之・三根真理子・吉峯悦子 共著

長崎新聞社刊・定価1600円＋税



2011年3月11日に発生した東日本大震災。わが国で最大級のM9の大地震。そのうえ最大波高10メートルを超える大津波が打ち寄せ、人も家屋も田畑も流し去り町は瓦礫と化した。さらに東京電力第一原子力発電所が破壊され、放射能を放出してしまった。2014年3月10日現在

「『焼き場に立つ少年』は何処へ」

吉岡栄二郎著

長崎新聞社刊 定価950円＋税



表紙写真の「焼き場に立つ少年」に記憶のある人も多いのではないか。1990年に一般公開されて以後、全国で巡回展示され、新聞やテレビにとり上げられて話題となった。2007年には、長崎県美術館で開かれた「ロバート・キャパ」展に特別展示され、県民に大きな反響を呼んだ。こ

1万5884人の犠牲者と2633人の行方不明者を出し、いまだ26万7000人が古里に帰れないでいる。

本書は、精神医学、放射線医学の研究者と保健師の3人の専門家が連携してまとめたリポート。大地震と大津波の被災現場に立つた原爆被爆者の「原子野と同じ」との辛い記憶（トラウマ）にバックに触発され、被爆者の心の復興の一助にと刊行を思い立った。心の被災、そのトラウマによる心的外傷後ストレス障害（PTSD）に焦点を当てた大震災被災者の心の復興への課題にこたえた書である。文中、峠三吉や御庄博実の詩、林京子や井上ひさしの原爆を主題にした小説の一説を引用するなど、親しみやすい文章を心掛けた。

序章で東日本大震災と長崎原爆の情景を描写。第1章「被爆の実相」で、改めて1945年8月9日に起こった未曾有の出来事をデータなどで回想。長崎市浦上の松山上空500メートルでさく裂した原爆のエネルギーが熱線約25%、爆風約50%、放射線約15%と推定されること、死者が当時

の純な凍々しい少年の姿が、70代の戦争体験者に、子ども時代を想起させ、愛おしく思われたのだと想像できる。現在「火葬場に立つ少年」の1枚が、長崎原爆資料館の廊下に展示され、来館者に静かに「何かを語りかけている」。

写っているのは、長崎原爆後2カ月内に長崎入りした米従軍カメラマン故ジョー・オダネル氏が「長崎で撮影した」と語っている仮火葬場での出来事。たぶん弟だろう、死んだ幼子を背負い、茶毘（だび）に付すために火葬場で、直立不動のままたつ少年の姿である。

だが、この写真、木立の背景が原子野とはとても思えない。長崎原爆の被爆者たちから「長崎ではないのではないか」との疑問が出された。本書は、「少年」と「撮影地」の特定のため5年余りをかけて、当時のオダネル氏の行程を追跡したルポルタージュ、調査の記録である。

著者は、写真を詳細に分析したうえで、撮影地は「爆心地から少なくとも3キロ以上離れた場所」と推定。オダネル氏の残した「火葬場は小高い丘

の長崎市民の約3分の1の7万3884人、重軽傷者7万4909人だったこと。さらに社会科学の専門家らが、原爆被害の特質を全面性、持続性、根絶性、未知性などに分類していることなどを紹介している。

そして第2章から7章にかけて、原爆被爆のトラウマについて詳しく解説。まずPTSDが注目されるようになったのは、ベトナム戦争の帰還兵による暴力行為がきっかけだったこと、また国内で「心のケア」がクローズアップされたのは、1995年のオウム真理教による地下鉄サリン事件から、などと詳述している。

第8章（終章）で「被爆者として『生きる』意味を求めて」と題して被爆の継承を強調。続けて被爆者の心のケアを考へることが「東日本大震災で被災された方々の心に寄り添うことにつながる」と確信していますと、あとがきで結び、原爆被爆者と福島原発の放射線被爆者の連帯の広がり期待を寄せている。

（長崎新聞社出版部 阿部成人）

の裾にある川岸だった」との言葉を基に、爆心地を流れる浦上川をはじめ東長崎の八郎川、さらに佐世保市早岐の小森川、諫早市の本明川などを踏査し、少年とオダネル氏の当時の消息を探った。結果は、諫早在住の高齢の女性から「被爆者の仮火葬場近くで背の高い一人のアメリカ兵と出会った」という目撃談を聞くことができたのをはじめ、少年の人物像に迫るいくつかの貴重な証言を得た。

丹念な調査を踏まえた考察が読む者の心をつかみ、読後、著者と共に探査の旅をした深い思いに浸らされる。

著者はあとがきに「この一枚の写真の尊さは（略）時間を超越した『象徴的な含意』にある」と云うことである。すなわ（略）原爆の地・長崎で写されたと言ふ事のみでなく、死んだ弟を岸辺の火葬場に運ぶたいかな少年の姿から、（略）神とは戦争とは、人間の存在とは―という本源的な問いに思いが募るのだ」と結んでいる。

（長崎新聞社出版部 阿部成人）

超音波洗浄器

アイワ医科工業株式会社

代表取締役 本田武利（諫早市高来町出身）

〒113-0033 東京都文京区本郷3-25-4
電話：03-3814-2291（代）
FAX：03-3814-2197

- * 超音波洗浄器製造一筋40年。
- * 医科・歯科・理化・工業・宝飾等多方面の業界において活躍。
- * 硝子器具・手術器具・機械部品等あらゆる分野の精密洗浄に最適。
- * 全80機種の標準製品を在庫。

ひと

佐世保市観光ふるさと大使常任幹事 北崎 昭子 さん

(聞き手…平松勲理事、文…内堀勝之理事)

6月9日(月)午後2時、四谷の事務所で、佐世保市観光ふるさと大使の常任幹事である北崎昭子さんに「活躍の様子などを伺った。

昨年は東京・丸の内の高級レストラン「センチュリーコート丸の内」に佐世保市の母などの食材を使わせてもらうという橋渡し役を引き受けた。

ふるさと大使の走りは昭和40年にさかのぼる。当時の長距離交通の手段は主に国鉄の列車であった。佐世保市に特急2本の乗り入

れのほかに、大阪―早岐間を走る団体観光専用列車「第二九州観光号」の第一号が早岐駅入りした。その時の公式出迎えの中に北崎さんの和服姿が見られた。

北崎さんは佐世保市早岐の生まれで、聖和女子学院、福岡の香蘭女子短大を卒業された。現在は医療法人社団 雄貴会と、おなじく医療法人社団 品仁会の両方の理事もされている。また、ダンス、タップダンス、ジャズ、日舞、狂言など趣味の広さには驚かされる。

平成24年1月30日ホテルオークラでの当クラブ新年賀詞交歓会に於いては、北崎さんのチームがダンスを披露され、会場を盛り上げていただきました。

最近のご活躍の例として、ひとつは平成24年11月16日に当クラブ理事の上野實さんの傘寿のお祝いを、北崎さんが東京・青山の人氣レストラン「アクアヴィット」にセットされた。会場には当時106歳の著名な教育学者の故郷地三郎氏、テレビの相撲観戦などで目立つ通称「オリンピックおじ

さん」なども参加された。

また、北崎さんは今年の4月16日に帝国ホテルで開催されたその「オリンピックおじさん」こと山田直稔氏の米寿の祝いを兼ねた2020年京オリンピック招致決定記念パーティに出席されて、舞踊を披露された。

さらに、今年の5月11日に東京江迎会にオリンピックおじさんが作詞、宮澤史生さん作曲した2020年東京オリンピック応援歌「笑顔のふれあい」を北崎さんも歌われた。

公私ともに忙しい北崎さんは今後とも、長崎の魅力をPRしたいと力強くおしゃって話を閉められた。



水とともに輝く



三輝工業株式会社
代表取締役 木戸紀雄

(長崎市出身)

URL <http://www.sanki-kogyo.com>

本社
〒103-0004

千葉工場
〒289-1107

佐倉工場
〒285-0812

東京都中央区東日本橋 3-10-14 サンライズ橋 8F
☎03 (3667) 3041〔代〕 FAX03 (3667) 8268
E-mail:info@sanki-kogyo.com

千葉県八街市八街は 1-59
☎043 (443) 9711〔代〕 FAX043 (443) 9884
E-mail:chiba@sanki-kogyo.com

千葉県佐倉市六崎 560-3
☎043 (481) 2101〔代〕 FAX043 (481) 2102
E-mail:sakura@sanki-kogyo.com



本社社屋

社訪

アイワ医科工業株式会社

業務用超音波洗浄器等で堅実経営 お客様第一の「利他」の精神貫く



本田 武利社長
(諫早市出身)

40年間連続黒字決算を達成

アイワ医科工業は医療器具及び業務用超音波洗浄器の製造・販売を手掛ける。1965年(昭和40年)の創業。本田武利現社長が29歳の時に独立し、その3年後に株式会社に移行し今日に至る。40年間連続黒字決算を誇り堅実経営を地で行く中小優良企業です。本田社長の誠実な性格がそのまま企業経営に反映されていると感じます。

本田社長の経営理念は「お客様第

一、利他の心を以て社会のために尽すこと」である。「ほどほどに働き、ほどほどの利益があれば十分」という。明治初期に日本資本主義の礎を築いた渋沢栄一翁の「論語と算盤」を理想とする経営を目指している。その上で「自分のこと、目先のことと反対のことをやれば結果として他人のためになる」とあくまで利他の精神を貫く。

本郷にて29歳で独立し 医療器具洗浄器から出発

独立当初は東京・本郷でスタートし、昭和58年に現在の主力工場である埼玉県草加市に移転。創業地の本郷には現在も本社と経理業務を残している。当初は医療器具の洗浄器からスタートし、その後、業務用超音波洗浄器に進出して業容拡大を図る。

生産機種は約60で 公害対策にも十分配慮

現在では医療用器具洗浄器の比率は約3割で残りは一般企業の研究

機関など向けが約7割を占めるという。本田社長は「納入メーカーは大企業から中堅企業まで幅広い範囲に及びます」という。小は精密な小型器具類を洗浄する歯科用洗浄器から、大は大企業や中堅企業の機械洗浄用まで。生産する器種は約60種類と多い。価格は1台3万円程度から200万〜300万円程度まで。

超音波洗浄器は水槽に水を入れて、水槽に取り付けてある機器で超音波を発信させ、汚れを剥離して各種機器を洗浄するもの。かつては危険なクロム酸等の液で洗浄していたが、今では水溶液アルカリ洗剤を使用しており、環境・安全対策にも配慮。従業員は22人で少数精鋭を貫く。

十分な在庫を持ち 即納体制でユーザーに対応

本田社長は「当社の最大の特徴は常に十分な在庫を抱えてユーザーの要望に応じて即納体制をとること。即納率は95%、55器種は即日出荷です」と自信たっぷり。さらに経営の基本方針として、○複雑で採算がと



超音波洗浄器

れない商品を選び、単純化して採算を合わせる ○合理的な行動を求めず、敢えて非合理と思える考えや行動をとる ○ヒット製品は作らず需要の安定した製品をつくる ○積極的にリスクを負う仕事をするー等を掲げる。

従業員は 定時退社・休日出勤なしで 本田イズムが浸透

さらに全製品を自社工場で生産し、全売上高の10%以上を得意先1社で占めない、などに徹し、代金回収率100%、貸倒れなし、得意先より仕入れ先を重視するーことを守る。しかも従業員には定時退社、休日出勤なしを貫く。これらは本田社長の経営姿勢が全社員に浸透している結果でもある。こうした日本経済の底辺を地道に支える堅実企業の存在は頼もしい。今後の着実な発展が期待されます。

(取材構成…当クラブ常務理事牧山康敏 撮影…同理事 内堀勝之)

ご案内

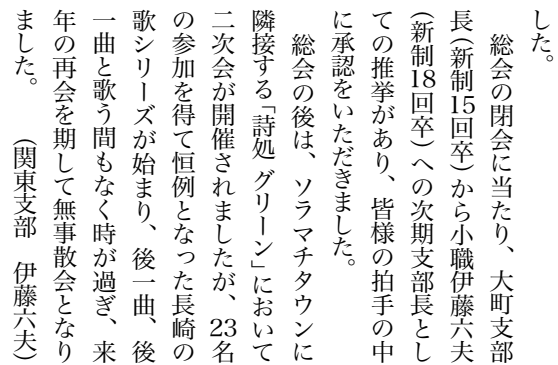
アイワ医科工業株式会社

代表取締役
【本社住所】

本田 武利
〒113-0033 東京都文京区本郷3-25-4
TEL.03-3814-2291 FAX.03-3814-2197

緒方仁副支部長の司会ではじまり、大町武俊関東支部長の開会宣言の後、昨年の物故者の黙祷を行いました。なんとと言っても今回は、永年関東支部の事務局長として関東支部の発展に寄与多大なる

今回は、旧制卒業生は、先記の岡田氏、最後の旧制となる64回生高石洋一氏も参加。一番若い卒業生は、新制53回（平成13年卒）の林田宏大氏で、世代のギャップはありましたが、長崎弁を交えての和氣藹々として総会になりました。



トピックス

宅島正二作品展

「軍艦島 1974」

—緑なき島を去る人々 その時—
宅島正二作品展「軍艦島1974」



2014年4月1日(火)～4月27日(日)
10:00a.m.～5:00p.m. 入場無料 毎週月曜休館(祝・祭日の場合は開館)

軍艦島落日の宅島正二

JCII PHOTO SALON

当クラブ会員の宅島さんの写真展「軍艦島 1974」が平成26年4月、東京・千代田区一番町のJCII フォトサロンで開催されました。長崎市端島通称軍艦島の炭鉱が閉山されてからちょうど40年、今は廃墟となった島が世界遺産候補として脚光をあびています。閉山直後の島の様子が写されています。見学者には炭鉱の関係者であろうか宅島さんの説明を熱心に聞いて居られるのが印象に残ります。宅島さんは1947年に雲仙市小浜町で生まれ、東京写真専門学校を卒業し、日本写真家ユニオン理事・監事を勤めていたが、現在は役職を後任に譲っておられる。



建築&インテリア設計
Architecture & Interior Design

株式会社 玄・ベルトー・進来
Guen BERTHEAU-SUZUKI Co.,Ltd.

www.guenbs.com
Tel:81-(0)3-3486-8467



長崎の物産を首都圏に

各種の物産展が首都圏で開催された。

(内堀勝之)

その2 「長崎県雲仙市観光物産展」

平成26年4月に東京都庁にて開催された。各種海産物が販売されていた。



その1 「長崎県平戸市フェア」

伊勢丹浦和店にて、平成26年2月に開催された。ヒラメ丼などの実演もあった。



その4 「長崎県産直うまか市」

平成26年7月5日に四谷の長崎よかもんショップ・四谷で開催された。



その3 「壱岐市観光物産展 in 東京都庁」

平成26年6月に開催された。ゆるきゃら「人面石くん」も登場した。



HOT NEWS

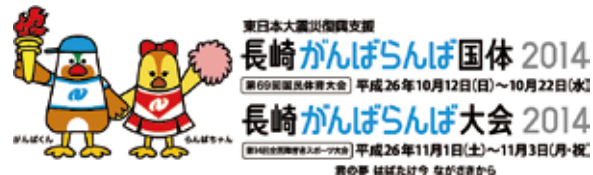
長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会いよいよ開催！ ～君の夢 はばたけ今 ながさきから～

今年10月12日から第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」が開催されます。39競技に約2万1千人の選手が参加し、デモンストレーションとしてのスポーツ行事とあわせ、県内全21市町が会場となります。長崎県での国体開催は昭和44年の第24回大会以来、実に45年ぶりです。

また、11月1日からは第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」が開催されます。参加する選手は15競技に約5,500人で、県内7市町を会場として行われます。毎年、国体の終了後に開催されており、長崎県での開催は初めてとなります。

両大会の開催にあたっては、ボランティアや競技観戦、花いっぱい運動など、県民一人ひとりが身近に出来る活動で参加する「県民総参加」の大会を目指して準備を進めています。

両大会の開催期間中には、全国各地から多くの選手や応援者が長崎県を訪れますので、長崎県らしい「おもてなし」を実践し、長崎県の良さや魅力を伝え、長崎県のファンを増やしていきたいと考えています。



マスコット付両大会ロゴ(会期入り)



メイン会場となる県立総合運動公園陸上競技場(平成25年3月リニューアル)

長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会実行委員会
(事務局：長崎県国体・障害者スポーツ大会部)

第53回 長崎ハタ揚げ大会

ビードロ会は今年も4月29日、大田区多摩川の六郷土手で「ハタ揚げ大会」を開催しました。一週間前の天気予報は雨。前日までヤキモキさせられました。物産販売担当者は覚悟を決めて商品の発注し、当日を待ちました。なんと！ビードロ会には晴れ男・晴れ女が多いことでしょう、結局その日は雨の心配をすることなく、大田区役所や地元の自治会、消防署の協力のもと、約2000人が参加して無事終了しました。

空には多くのハタが舞い、広場では腹話術、東龍倶楽部の龍踊りが披露され、「モッテコイ！」のかけ声が多摩川の水面に響き渡りました。芝生の上には、家族連れや友人のグループ、在京各高校同窓会・県下在京地区の会・協賛企業の方々がシートを広げ、作りたてのチャンポンやかまぼこ、角煮まんじゅうなど長崎の味を肴に、あちこちで（酒宴？）で盛り上がっていました。

また、大田区の松原区長が初めて来場、挨拶され、長崎と今後さらに交流を深めたいとの言葉をいただきました。この「ハタ揚げ大会」が大田区六郷地域の行事として受け入れられたことを実感しました。「大会」とは言っても、ハタ揚げを競うわけではありません。子供たちが家族と一緒に「一銭バタ」を持って走り回っている光景を見ると、半年かけて準備した苦勞を忘れました。来年も4月29日に開催します。皆さんのお力でこのイベントをもっと盛り上げていただきたくお願い申し上げます。

（長崎市人会「ビードロ会」幹事長 中西俊雄）



YOKAMON **よかもん** YOKAMON

県産品販売コーナー がオープン!

ながさき KEN 産

平成26年3月20日、新宿区四谷にある東京産業支援センター1階ロビーに県産品約340品目を常設販売する「長崎よかもんショップ・四谷」と、県内の企業などが販路拡大に向けた商談ができるコーナーがオープンしました。

場所は新宿通りの裏通りですが、だんだんと知られるようになってきました。「探し探し来たけど良かったわ。長崎に行ってきたけど土産を買ってこなかったの助かった。これからはこの店があるから便利ね。」とご婦人のお声がありました。

ショップでは、新作展受賞商品や長崎四季畑認定商品、長崎俵物を販売中です。また、県産品お中元セール期間中（8月20日まで）、お買い上げ金額が3000円（税込み）以上の場合には全国送料無料のサービスを行っております。

客様の声でした。長崎から直送される長崎名物の代名詞「長崎カステラ」をはじめ、「長崎ちゃんぽん・皿うどん」や地元出身の方には忘れられない味の「かんころ餅」、お土産にも最適な長崎の各種銘菓など、長崎の逸品が東京にいなから手に入ります。

ショップでは、新作展受賞商品や長崎四季畑認定商品、長崎俵物を販売中です。また、県産品お中元セール期間中（8月20日まで）、お買い上げ金額が3000円（税込み）以上の場合には全国送料無料のサービスを行っております。

長崎県は、「びわ」の生産量日本一。特に茂木地区は冬の気候が温暖で、南向きの斜面は「びわ」の栽培に適しており、「茂木びわ」という品種にもなっております。ひとつひとつ丁寧に種を取り、さまざまな形で賞味いただけます。この季節、涼感ただようデザート「びわゼリー」「びわアイス」もなか「びわアイス」はいかがでしょう。

他にも、人気商品は焼酎やビールのおつまみに最適な「まるごと」

●長崎県産品販売コーナー「長崎よかもんショップ・四谷」

（一社）長崎県物産振興協会東京支所

東京都新宿区四谷1-10-2 長崎県東京産業支援センター1階ロビー

営業日：月曜日～土曜日（祝日、年末年始除く）

営業時間：11時30分～19時

【お問い合わせ】TEL&FAX 03-5315-4010



滋養たっぷりの「まぐろ」や「ビーナズ」や「レトロな小浜の「湯せんぺい」「金蝶ウスターソース」、そして、「島原手延べ素麺はもちろん、冷やして美味しい「五島手延べうどん」など多数取り揃えております。

皆様のご来店をお待ちしております。

平戸高校東京同窓会

6月7日、新宿の日本出版クラブ会館において、来賓に東京平戸北松地区会の上野様、亀山様、猶興館東京同窓会会長大石様、松浦高校同窓会関東支部会長吉元様をお迎えし、平成二十六年年度の総会・懇親会が盛大に開催されました。会場では郷土の物産の販売も行われ、懇親会では本部川上茂次会長からの郷土の原酒「おろくにんさま」もいただきながら、スピーチや福引きで盛り上がり、あつと

いう間の二時間半でした。平戸高校は今年度独立四十周年、そして総合学科改編十周年という記念の年を迎えており、十月九日に記念式典と平戸在住の声楽家松口ようこ氏のコンサートを予定しています。

地域の子どもの減少で本校生も減少していますが、少人数の良さを生かして、一人ひとりをしっかり育てていきたいと思っています。

初めて会に出席して、平戸北松地区出身の方が遠く離れた関東でそれぞれに活躍されていることに

心熱くなった一日でした。

（平戸高等学校校長 久家彰夫）



平成26年新年賀詞交歓会開催

平成26年1月29日（水）、18時30分よりホテルオークラ・コンチネンタルルームにおいて、恒例の新年賀詞交歓会を行いました。ゲストはクラシカル・クロスオーバーの歌手、梶原ひろみさん（長崎東高卒）でした。彼女の明るい歌声やお楽しみ抽選会で盛り上がりしました。参加者は102名でした。

（内堀勝之）

平成26年度猶興館東京同窓会総会・懇親会報告



晴天に恵まれた中、平成26年5月17日正午より、新橋、第一ホテル東京4階プリマヴェーラにおいて、平成26年度猶興館東京同窓会総会が、今年も200名を超える会員の皆様のご参加をいただき、無事開催することができました。

今年度の総会は、当同窓会の役員改選の年度にも該たり、新執行部の選出を幹事会推薦に基づき総会に諮り、満場一致の決議をもって新執行部就任の了承をいただきました。

今年度からは、新たな執行部体制により当同窓会の活動を継続していくこととなりました。

総会の議事終了後は、恒例の懇親会へと移行し、剣道部先輩後輩コンビの司会者による楽しい幕開けが始まり、最初の演目は、今期退任される岩崎会長による日本舞踊「黒田武士」。優雅な舞いで、会場を完全に摘みました。

その後、松浦家松浦章名誉顧問の乾杯の音頭を経て、昨年好評だった「でんでん虫」が一部編成を変えてつつ新たなコラボメンバーも加えてライブを行い、懐かしい楽曲で会員の皆様の思い出を喚起し、青春のひとつきへと誘いました。

引き続き、郷土愛とともに昨年異常なまでの盛り上りを見せた「平戸検定クイズ」が今年も卒業年度対抗戦（テーブル対抗）形式で行われ好評を博し、新たな郷土再

発見に繋がる未知の情報などが会員の皆様に提示されました。まだまだ知らないことの多い郷土の歴史と文化には感嘆せざるを得ません。

また、「平戸さくら」の保護・生育を訴えるNPO代表による楽曲の歌唱に加え、全国的に広まりつつある「ふるさと納税」についても、テレビ番組に出演された平戸市職員を含め、平戸から参加された同窓職員らによる丁寧な納税アピールに心を揺さぶられた会員もおありかと思えます。

こうして、懇親会は年次幹事諸氏による進行の許、フィナーレへと進み、最後は、自らの出自を顧みる各校歌斉唱で、会場が一つの「猶興の輪」で包まれ、最高の閉会



大石郁夫

を迎えるとともに、会場のあちこちで来年の再会をお互いに祈い合う声が響きました。来年度も本年同様、来年度年次幹事の活躍と会員皆様多くのご参加を得て、盛会となりますよう祈念いたします。

（猶興館東京同窓会会長

トピックス

≡ 彦岐高東京同窓会、 23回総会・懇親会を賑やかに開く

彦岐高東京同窓会の第23回総会及び懇親会が6月22日、東京・千代田区の「スクワール麹町」で開催され、56人が参加。彦岐から彦岐高の鶴田勝也校長、彦岐高同窓会の江田和夫会長が来賓として出席いただきました。また白川博一彦岐市長、長嶋立身彦岐市観光連盟会長からは丁寧な祝辞のお手紙をいただいた。

懇親会は、平成生まれの土肥瑞希さんの音頭で、彦岐市の条例に従って彦岐焼酎で乾杯。アトラクションはフラダンスやビンゴゲームで盛り上がる。久しぶりに顔を合わせた人も和気あいあいのうちに、3時間の総会・懇親会はあっという間に過ぎました。

配布資料の葉の表紙写真には、昨年、彦岐高放送部が全国放送大会（NHK主催）に出席した際の羽田空港での出迎え風景写真を掲

（彦岐高東京同窓会幹事長 副島 清）



≡ 佐世保工業高等学校 総会・懇親会の開催報告

平成26年5月24日、佐世保工業高等学校同窓会関東支部の総会・親睦会を西武新宿の新宿プリンスホテルにおいて実施した。最高齢87歳から18歳まで35名の参加があった。来賓として、本校から三根校長、佐世保市東京事務所から伏原副所長、特別参加として長崎工業高等学校同窓会から松尾会長、山口事務局長の参加があった。

式事に沿い、監査報告、役員紹介等を実施し、引続いて来賓挨拶、乾杯の後、アトラクション、校歌・応援歌斉唱を交えて賑々しく、飲

会が永く継続できるように、役員一同奮闘して行きたい。
（支部長 萩尾正雄）



≡ 東京対馬会開催

会議員、市議会副議長などのご来賓や、長崎県東京事務所長を初め、在京県人会各地区代表の方々、友好団体の皆さま等をお招きし、90名を超える参加者で盛大に開催された。歌野宏会長は挨拶で、今年も日本海海戦ゆかりの東郷神社内の場の意義に触れ、対馬の繁栄とご臨席の皆さま及び会員との絆をより一層深めたいと決意を述べた。



議事は全員異議なく終了し、第2部懇親会ではお楽しみのアトラクションはまず、ワハハ本舗の若手パフォーマー「キャラメルマシンの」マジックと絶妙なツッコミトークなどに会場割れんばかりの拍手。そして、トリは対馬出身の歌手対馬一誠さんのミニ歌謡ショー。今年は若手、女性の参加が多く見られ、来年の再会を期して午後3時過ぎに散会した。

（東京対馬会 幹事長 糸瀬敬二）

盛夏の折 ご自愛ください

長崎県人クラブ



全日本綱引選手権 むぎ焼酎吉岐が20年連続出場で特別表彰

全日本綱引選手権大会が3月2日、東京・駒沢オリンピック公園体育館で行われ、長崎県代表として20年連続出場を果たした「むぎ焼酎吉岐 遠山の金さん」(玄海酒造後援)が特別表彰されました。変化の激しい時代に20年連続で全国大会に駒を進めることは至難の業。まさに偉業であり快挙です。今回の特別表彰はその快挙を顕彰するもの。応援に駆けつけた東京吉岐雪州会や長崎県人クラブ関係者約100人の応援団も惜しみなく称賛の拍手を送りました。試合は全5試合で、強豪相手に善戦するも及ばず未勝利に終わったが、選手はこれをバネに21年連続出場へ向けて雪辱を期した。競技終了後、午後5時から場所を品川プリンスホテルに移して「20年連続出場記念」の慰労会が盛大に開かれ、選手団を含め約100人が参加。慰労会で玄海酒造の山内賢明会長(長崎県人クラブ理事長)は「来年は21年連続出場に向けて頑張りますので一層の応援をお願いしたい」と挨拶。今や「春の風物詩」となった「むぎ焼酎吉岐」チーム参加の全国綱引大会に改めて「吉岐

魂」を揺さぶられ、私たち吉岐人の団結力を再認識したひと時でもありました。

(東京吉岐雪州会会長 牧山康敏)



賀詞交換会

お楽しみ抽選会には今年も多数の企業・団体様にご協力をいただきました。

理事長賞の2升半の焼酎「益益繁盛」を当てた宅島さん



ゲストの梶原ひろみさん

(写真：井上早苗)

大村市・五島市の共同での新東京事務所

平成26年4月1日、大村市と五島市が全国的にも珍しい「共同開設」という形で千代田区麹町に新東京事務所を開設しました。

大村市は平成元年に東京事務所を開設し昨年開設25周年を迎えましたが、それを機に人員増を見据えたさらなる機能強化を図り新事務所への移転を企画していました。またこれまで東京に事務所を持つていなかった五島市はかねがね物産観光振興の首都圏に於ける拠点づくりが懸案でした。

しかしながら、両市が単独での新事務所への移転および新設は財政的にも厳しいものがありました。昨年この両市の思いが一致し「事務所シェア」という形での新事務所開設が実現をいたしました。

場所は新宿通りに面し皇居の半蔵門まで徒歩2、3分と環境も抜群で、春は多くの花見客で賑わいました。また広さも146㎡と旧大村市東京事務所の2.7倍程の広さとなり「ふるさと」の会「関係も頻繁に利用しています。ま

た市長を始め、両市からの来所者も多く、これまでとは違った展開が予感され、新事務所が順調なスタートを切れたものと職員一同張り切っているところです。

大村市は従来通り私木下が所長を継続し、五島市からは新進気鋭の馬場寄初則さんが初代所長として着任されました。

大村市は去る6月3日(火)に約30名の関係者を招待し「新事務所お披露目会」を催しました。五島市も11月中旬にお披露目会の開催を予定しています。

(大村市東京事務所所長 木下通人)



規約に基づき平成26年5月26日(月)、午後6時30分から第43回定時総会を開催しました。

第1号議案 平成25年度 事業報告

第2号議案 平成25年度 収支決算(案)

第3号議案 平成26年度 事業計画(案)

第4号議案 平成26年度 収支予算(案)

第5号議案 役員改選(案)

いずれの議案も承認されました。

改選された役員の氏名と出身地は次のとおりです。(◆印は新任)

理事長 山内 賢明(壱岐市)

副理事長 光安 一夫(長崎市)

今泉 弘人(諫早市)

原田 泳幸(佐世保市)

立石 公博(壱岐市)

常務理事 藤島 満年(長崎市)

松山 政義(長崎市)

南野 徹(大村市)

吉田 牧男(佐世保市)

牧山 康敏(壱岐市)

男澤 浩一(長崎市)

◆福田 俊男(大村市)(昇任)

理 事 山田 芳則(長崎県)

黒田 正代(長崎市)

菅生 泰亮(長崎新聞社)

梅田 泰彦(長崎放送)

佐藤 博之(テレビ長崎)

小林 裕之(長崎国際テレビ)

大浦 秀樹(長崎文化放送)

平松 勲(平戸市)

小佐々 学(大村市)

井上 早苗(長崎市)

福本 吉郎(長崎市)

本田 武利(諫早市)

弓削 保彦(長崎市)

小柳 哲敬(長崎市)

内堀 勝之(長崎市)

木下 通人(大村市)

上野 實(江迎町)

豊浦 隆彦(佐世保市)

浦松 敏和(佐世保市)

今村 勇雄(五島市)

古川 彌(長崎市)

玉木 国隆(諫早市)

◆柚原 治美(対馬市)

◆白石 光男(壱岐市)

◆下田 浩六(長崎市)

監 事 ◆神田 健一(北松浦郡)

平成26年度 事業計画

(自：平成26年4月 至：平成27年3月)

平成26年 5月26日 平成26年度(43回)定時総会

7月24日 納涼親睦会 於：浜松町東京會館

7月 機関誌「長崎倶楽部」47号発行

10月 講演会

10月 永年会員懇談会

11月 在京長崎県下高校同窓会代表者の集い

平成27年 1月29日 新年賀詞交歓会 ホテルオークラ

1月 機関誌「長崎倶楽部」48号発行

3月 講演会

※毎月第2水曜日午後6時から会員同志の親睦を目的に(会員デー)と称してミニ会合を開催(会員外も歓迎)。飲物、おつまみ無料提供



パソコンを寄贈していただく

当クラブでは事務の効率化を図るため、パソコンを使用しています。パソコンソフトのウィンドウズXPのメンテナンスが今年4月に終了するのに当たり、パソコン自体も新規に更新する計画を図っていましたが、当クラブ理事の今村勇雄様と当クラブ会員の株式会社エフタイムの代表取締役社長である辻久彦様のご厚意によりパソコンを寄贈していただきました。

紙面を借りて厚く御礼を申し上げます。



お

く

や

み

故渡海 親衛様

平成26年5月28日胃がんの為、ご逝去されました。（享年70才）

平成20年の当クラブ主催「新年賀詞交歓会」では、お嬢様の千津子様（二期会所属のソプラノ歌手）の素晴らしい独唱に、父親としての幸せそうな笑顔が思い浮かびます。

近年は、東京大村会の会長としての職責を全うされていました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

故藤田 静誉様

平成25年11月死去。佐世保市出身。謹んでお悔やみ申し上げます。



「松浦・広島・大阪・青森・東京から浜松へ」

中島 亨（松浦市出身）

松浦市出身の私にとって、40代まで故郷は必ずしもなつかしい場所ではありませんでした。ここではないどこかに花開く場所がきっとあるはずだという漠然とした気持ちのまま、故郷を出て、広島・大阪・青森・東京を転々とししました。その間、故郷に戻ると前に向かった気持ちがいぼむような気がして、ほとんど帰省もしませんでした。

ところが50代になると、今いる場所が楽しい一方で、自分の骨格を作ってくれたのは松浦在住時の数々の経験や学びだったことに気

付くようになりました。遅い気付きでした。同じころに松浦で過ごした友だちはどうしているだろうという気になり、自然と同窓会にも参加し、松浦高校同窓会の世話役も務めるようになりました。長崎県人クラブの存在を知ったのは、そんなときでした。イベント情報や同窓会の運営ノウハウを求めて、四谷の事務所にも足を運び、多くの方にご指導をいただきました。大変お世話になりました。そんななか、2013年4月29日に初めて長崎ハタ揚げ大会に参加しました。高校の先輩数人と多摩川

河川敷に座り、チャンポンや角煮を味わったり、龍踊りに胸躍らせたり、エキゾチックなラッパの音をなつかしんだりしました。薫風を受けながら童心に還ってハタ揚げにもチャレンジし、はしやぎました。翌年もぜひ多くの同窓生に声をかけてみんなで参加しようと思いにしていたのに、仕事で東京を離れ、4月中旬に浜松に引越してしまいました。

浜松には長崎を思い起こすような料理や景色は今のところありませんが、五畳ほどもある大きな風を揚げ競う祭りがゴールデンウィークに開催されます（浜松祭り）。砂丘近くの広場からはるか高く舞う勇壮な風の群を見てみると長崎のハタ揚げ大会を思い出しました。

ふりかえると、どこで暮らしていても、生活のいろんな場面で、長崎とひき比べている自分を思い起こします。将来、故郷に戻るかどうかわかりません。この文章を書いていて思うのは、私の考え方や生活態度のベースは故郷の長崎なんだということです。

四谷散歩とところどころ

事務所が2002年に銀座から四谷に移ってからはや12年が経ちました。四谷を歩きまわって気になったところを紹介します。（内堀勝之）

①迎賓館

紀州徳川家の広大な江戸中屋敷の一部にあり、鉄骨補強煉瓦造り、地上2階、地下1階の耐震・耐火構造で、日本における唯一のネオ・バロック様式の西洋風宮殿建築です。JR四谷駅から数分です。年に一度は館内の見学が許可されるようです。



②永井千本桜2世

原爆に被爆されながら救護活動に尽力された永井隆博士が焼け野原となった長崎・浦上1,200本の桜（永井千本桜）を植えられました。その永井千本桜から枝取りして、育てられた2世となる苗木が2011年に長崎如己の会より上智大学に寄贈され、構内に植樹されています。ここもJR四谷駅から数分のところにあります。





McCafé®

| CAFÉ LATTE ⑤ ¥195 | CAPPUCCINO ⑤ ¥195 | CAFÉ MOCHA ⑤ ¥258 |
| CARAMEL LATTE ⑤ ¥258 | PREMIUM ROAST COFFEE ⑤ ¥100 |

※販売店舗はお客サービス室・弊社ホームページでご確認いただけます。【お客サービス室】0120(010)916【受付時間 9:00-17:00】【ホームページ】<http://www.mcdonalds.co.jp/>

